



## 豪雪お見舞い申し上げます。

大変な豪雪ですが、新しい年を、ご家族でお元気にお迎えしたことと思います。

昨年は、皆様の大きなご支援により、大変厳しい選挙戦を勝ち抜くことが出来ました。特に浦佐地区は5名の立候補者があり、全員共倒れになっても不思議でない中で、1,120票・11番目という上位当選させて頂きました。本当に有り難うございました。

11月8日臨時議会が招集され、日焼けした30名が初めて顔を揃え、議長、委員会構成等議会人事が決まりました。初めて入る議場は緊張し、一礼したかどうかさえ定かではありません……！私の席は議席番号6番、最前席で井口市長の正面です。63,000人市民の付託に応えるため、いよいよ第一歩がスタートすると思うと武者震いがしました。一年生議員ですが「社会厚生委員会」の副委員長に選ばれました。

11月・12月は研修会や勉強会が続き、選挙の整理も出来ないうちに12月の定例議会を迎え、12月8日の議会運営委員会に始まり、12月14日～22日までの9日間の会期で本会議が開催されました。市会議員として初めての一般質問は緊張しました。12月19日午後のトップバッターとして、壇上から井口市長に質問しました。持ち時間は再々質問まで含めて30分。万全な準備をして3点質問しましたが、地に足が着かないと言う事はこのことを言うのか……！（質問内容は次ページに掲載）議会で挙手、起立、発言するにも全て初めてで、昼休み等にも会合が頻繁にもたれ、一日がアツという間に終わるとというのが実感です。

12月定例議会で特に大変な案件と思ったのは、①ここまで財政事情が逼迫しているのかということです。国の厳しい財政事情（三位一体改革）の影響により交付税交付額がここ三年間で14億4千万円減額となり、市の財政事情は急激に悪化したようです。市長はその事により市民へのサービスは落とさないと言いつつ「財政健全化計画（案）」を示し、5年間で63億円の歳出削減に取り組むと強い姿勢を打ち出しました。執行部と議会が協力をし、市民に信頼を得ないとこの難局は乗り切れないと感じました……。

その他の案件として ②指定管理者制度の導入  
③総合福祉センター構造設計問題 ④魚沼地域基幹病院建設 ⑤市庁舎整備計画検討委員会と課題は山積しています。

皆さんと共に考え・共に汗する事が、より一層大切と感じた初議会でした。

### 議会の所属・構成委員会がまりました

- ・ 会派一つつじクラブ（幹事長）
- ・ 社会厚生委員会（副委員長）
- ・ 議会運営委員会
- ・ 都市計画審議会
- ・ 病院事業運営委員会
- ・ 環境審議会

# 一般質問

## 観光協会の合併について

私が市議員へと心が動いた大きな理由に、浦佐の町に活力と元気を呼び起こしたい。3月3日の日本三大奇祭・裸押し祭りのように365日、にぎやかな・人々であふれる町にしたい。そのためには50年いや100年かかるかも知れないが、私と一緒にそのための汗をかこうと市民に訴えて、大きなご支援をいただき、こうして議場に立たせて頂きました。

今から26年前、30歳の時に浦佐多聞青年団の法被を誇りに、最高幹部として伝統ある祭りをとりしきったものです。その後二年間は、顧問として裸押し祭りを支える中で、3月3日一日だけのにぎわいでなく、多くの行事・イベントをする事で、町がうるおい・町を元気つけようとアルコールが入るたびに話が出ました。

それからです。町・農協・商工会・旅館組合等地域ぐるみで、多くのイベントを試行錯誤を繰り返しながら行いました。今年20回を迎えた魚沼菊花展浦佐菊まつり、来年20回を迎える浦佐温泉耐久山岳マラソン・健康歩こう大会、そして高速道開通に合わせた千人稲刈りにたんを発した、田植え・稲刈り教室、スイカまつり、猫の手応援隊等です。

いつもその中心的役割を果たしてきたのが、観光協会です。

いま、スキー人口の年々の減少、昨年の地震の影響により誘客人口は激減しており、地域経済や市民生活に及ぼす影響は大きいです。従来のように企業誘致が難しくなっている今日、観光を核とした新たな地域産業の構築・振興が不可欠です。

その事を中心的に担う観光協会が南魚沼市に二つ存在すると言うことは、大変不合理であり、対外的にもマイナスです。新生南魚沼市に訪れる、319万人観光産業の新たな再構築のために、一日でも早い一本化・合併が不可欠です。

観光協会の合併進捗の現状と課題、そして合併の時期はいつ頃になるのか伺います。

### 〈市長答弁〉

現在までに3回の会議を開催しており、合併の目標は平成18年4月1日で確認しておりますが、観光資源・協会の体制の違い等々で調整作業は困難を要していると報告を受けておる。合併については行政が介入することなく、自主的に進めてもらいたいが、遅々として目標までに進まないようであれば、合併促進に向けて動きを出して行かなくはいけないと思っている。

## コシヒカリ等級下落の原因について

二つめは農業問題です。

新たな「食料・農業・農村基本計画」を受け、国は10月27日「経営所得安定対策等大綱」を決定し、戦後農政の大転換期をむかえようとしております。19年度から実施される農業政策に向けて、市・農業指導普及センター・JA等関係団体が、いち早くその対策・指導に乗り出しており、感謝します。



20日	19日	18日	17日	16日	13日	12日	11日	10日	8日	7日	5日				
議会運営委員会	大和商工会行政懇談会	三会派政務調査幹事会	懇談会	浦佐地区議員・区長	本町商店会新年会	三会派合同会議	回	大和地区豪雪状況巡回	議会全員協議会	の件で上京	遊休地(KCK跡地)	裸押し大祭委員会	常設新年会	こぶし会勉強会	議長等年始回り

市の基幹産業は「農業」と位置づけ、市章もコシヒカリをデザインしており、市長の農業、とりわけ日本一のブランド・魚沼コシヒカリに対する強い思いが伝わってまいります。私もその市長の考えに共鳴し、農業振興には心血注ぐ覚悟であります。

そこで、私が懸念したことは、市長の所信表明で、コシヒカリの一等米比率が大幅に低下した原因は、出穂後の日照不足・台風14号の強風・その後の豪雨の影響により、全地区で倒伏し、乳心白・青未熟米が発生したためと、気象災害に起因していると話したからです。

確かに気象に寄るところもありますが、ここ、十数年「異常気象」は当たり前、天気には左右されない「米作り」に取り組んできました。日本一のブランド・魚沼コシヒカリが天気に左右されてはならないからです。品質低下をいち早く察知したJA、振興局・農業指導センターでは、9月27日より現地調査を重ね、栽培技術によるところが大きいと数字をまとめております。一等米比率が落ちた落ちた原因は農家心情を考えれば、理解出来無いわけではありません。魚沼コシヒカリの高単価と温暖化により茎数確保が容易になり、適正な反収以上を求めた事が原因だからです。平成12年の年に9月中旬のフェーン現象があり、米の品質が悪くなりました。この時も異常気象にかずけず、栽培に原因有りと言うことで、指導を行い今日きております。

市長が、先頭に立ち、今一度、コシヒカリの基本技術（土作り・過剰な茎数防止等）を徹底しないと、トップブランドの魚沼コシヒカリの日本一の座は危ないです。たとえどんな天気がかよようが品質・食味は落ちてはいけません。これが日本一の魚沼コシヒカリの宿命です。



農業政策と同じくらいに、重要で大切な問題と考え、技術的な問題ですが市長に考えをお伺いします。

### 〈市長答弁〉

今年は異常気象によるところが原因だが、指摘の通り坪刈等からも増量傾向が顕著であり、増収基調も当然関連しているのではないかと考えられるので、堆肥の施用・稲わらの鍬込みの土作り等の、気象変動に強い栽培体型の構築を取り急ぎ進めなくてはならない。

## 子供の学力向上について

子供は地域の宝であり、子供の健全な育成には地域を上げて取り組んでおります。私も4人の子供に恵まれ、子供が小学生の時、通知票を持ってき、成績が上がると褒美を上げたことが懐かしく思い出されます。

我が子の成績・学力の向上を願わない親など一人もおりません。本年の1月に実施した全県学力検査結果（通過率で表わしており70%以上の回答率）から、小学校は4～6年生で国語

## 活動日誌

- （05年10月）
- 27日 当選議員研修会
- 31日 会派代表者会議
- （11月）
- 2日 会派代表者会議
- 8日 臨時初議会
- 9日 菊まつり表彰式
- 17日 つつじクラブ勉強会
- 18日 男女平等推進集会
- 23日 白山神社新嘗祭
- 25日 文化財保存連絡会
- 29日 寺宝めぐり会議
- 30日 こぶし会勉強会
- （12月）
- 2日 基幹病院特別委員会
- 5日 南魚農業考える研修会
- 7日 会派代表者会議
- 8日 こぶし会勉強会
- 8日 裸押合い記録保存会議
- 9日 議会運営委員会
- 9日 つつじクラブ勉強会
- 10日 松原議長就任祝賀会
- 12日 後援会忘年会
- 12日 こぶし会勉強会
- 14日 12月定例議会
- 17日 地球温暖化講演会
- 18日 浦構組合臨時総会
- 24日 町内しめ縄作り
- 25日 種村県議・つつじクラブ懇談会
- 26日 裸押合い記録保存会議
- （06年1月）
- 1日～4日 県議・市長・



を除き算数・理科・社会は県平均を上回っており、中学校は英語と1年生の理科をのぞき県平均を下回っておりました。又、ほぼ全ての中学校が参加している、毎年4月に行われる、NRT・標準学力検査の結果ですが、ある学校の数値から推察すると南魚沼市の中学生の学力は全国を下回っております。

来年度、魚沼地区に5番目として開校する津南の中高一貫高校の先輩の村上中等学校の2年生の全県学力検査を南魚沼市の2年生と比較すると、英語で53.7対98.7、国語55.7対97.5、数学で61.3対98.7と大きな学力の差が生じております。

同じ2年生として、それで良いのでしょうか。学校のシステムが違うからと言うことで、片づけられない問題と思います。

今、ここに中学生の将来の職業への希望・夢の記載があります。子供達の将来の夢への自己実現のためにも学力の向上は不可欠です。

そこで、お伺いいたします。本年実施した全県学力検査結果についてどのように分析し当市の学力についてどのように思ったかお聞かせ下さい。

そして、14年度からの学習指導要領により、授業時間数が1,050時間から980時間に減少し、教科内容も二割も減ったと聞いております。市教委としても学力向上のために、学習指導センターにより、先生への指導方法の改善は指導しておりますが、授業時間数確保のために、今休みである土曜日の活用について提案致します。

### 〈教育長答弁〉

- ・中学生は年々わずかであるが向上してきておる。全国、他地域より学力が低い原因は家庭学習時間の少なさです。
- ・学力向上のために第一は基本的な生活習慣（早寝・早起き・挨拶・食事をしっかりとる）が大切。第二として今後は夏休み等の活用、それでも効果があがらない場合は土曜日の利用も考える。三段構えで進めていく。

## 新年のご挨拶

関常幸後援会会長

北村洋成



新年明けましておめでとうございます！

平成18年度のスタートです、とは言うものの新年の挨拶が「ごおーぎだの！」「どーなるがーそ、この雪」と会う人会う人に言われ、大変な出足となりました。

昨年の市議会議員選挙では本当に大勢の方々や、後援会の人たちによりまして、南魚沼市議会議員・関常幸さんを当選させていただきました。厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。30人の定員の中に入ることを目指して、非常に激戦区でもあり、苦戦した選挙戦だったと、今振り返れば思います。歳から言えば私はまだまだ若造ですが、関議員と行動を共にしたなかで、本人のパワーと流す

汗を感じ取り、こっちまで元気を貰い受け大変さも乗り切ってきたような気がします！

関議員にも言いましたが、これからの議員は「気楽に・気さくにひざを交え話ができて、市民の立場で考え、気配りのできる議員にならなければならない」と私は常に思っています。

南魚沼市の中の30名の市議会議員ですが、地域・部落にも目を配らせていただき、そしてもっと大きな南魚沼市の課題・難題・政策にも取り組んでいただけるよう、関常幸議員には頑張ってもらいたいと思います。

選挙戦で皆様方と、流した汗を忘れずに、任期4年の間を息切れしないよう「全力疾走」で御活躍されますよう期待いたします。皆様方も、この大雪に負けず風邪などひかないように健康に注意していただきまして、引き続きご支援していただきませうようお願いいたします。

ついに！

ね 願いがかなった初当選

ゆ 夢と！

き 希望を持って市民のために！

### ●編集後記●

創刊号をお届けします。年4回発行しようと思っております。私へのご意見や提言、市への要望・苦情等遠慮なさらずお申し付け下さい。その事を通じ学び勉強をさせていただきます。皆さんと同じ目線での活動が議員活動の基本と思っておりますので宜しくお願い致します。

この会報に名前を付けて下さい。1月1日にホームページを立ち上げました。関常幸で検索してみてください。

大寒を迎えまだまだ寒さが続きます。健康と大雪の事故にはくれぐれもご注意下さい。今年こそ災害の無い良い年にしましょう。